

## 冬休み子どもスポーツクラス新型コロナウイルスへの対応ガイドライン

### 館内での対応について（全般）

- 熊本県作成の「感染防止対策チェックリスト」に準じた対策を講じる。
- 館内は換気の良い状況を保つ。天候に問題なければ常時窓を開けておく。
- 入口に消毒薬（手・指用）を設置する。
- トイレのハンドドライヤーは、使用禁止とする。
- 利用者が手で触れるドアノブ、手すりなどを各センターの実情に合わせて定期的に
- 職員が消毒する。※2時間に1回程度
- 入館者の方には可能な限り、マスクの着用をお願いする。
- 換気扇は可能な限り回しておく。
- 参加者以外の長時間の入館、会員保護者の観覧、待機はご遠慮いただく。  
（保護者見学会のみ館内での見学、撮影が可能です）

### クラス前後の対応

- クラス参加者への手指用消毒スプレーの噴霧を行うよう促す。
- 館内の密度が高まらないように更衣室内への誘導人数を調整する。
- 開始時にメンバーの体調確認を行う。
- 体調がすぐれない様子がある場合は検温し、37℃以上の場合には保護者に連絡し、帰宅していただく。（保護者が迎えに来るまでは隔離する）
- 保護者の皆様の滞留時間を短くし、スムーズに入れ替えを行う。

### プログラム指導中

- クラスの開始・終了は、各グループで行う。クラス担当者によるお話や準備体操等は簡潔に行い、飛沫・密集状況を避ける。
- 可能な限り参加者同士の間隔や講師・リーダーとの間隔を空ける。
- 密接・密集を避けるために、持ち物の置き場や机の配置などに留意する。  
また、指導内容を見直し、参加者の間隔を空ける。
- トイレに行く場合は、必ず消毒やシャワー(水泳)を済ませ再開する。
- 指導に際して、メンバーとの接触回数が最小限になるよう努める。

### 送迎バス ※ご利用者の皆様

- バス運転手は、乗車前に手消毒をし、必ずマスクを着用する。
- 送迎バスでは可能な限り座席を空けて座らせ、常に窓を少し開けて換気する。  
また、バス内も運行前・運行後に定期消毒する。
- 乗車するメンバーは、可能な限りマスクの着用をお願いする。

### 感染者が出た場合の対応

プログラム参加者、YMCA職員・講師・リーダーなどで感染者が出た場合は、基本的に該当センターのプログラムをすべて中止し、学校保健安全法に準じて閉館の措置をとります。その後の対応につきましては、保健所、行政機関に確認をとりながら進めてまいります。